

2024年度 水球男子U18世界選手権 日本代表選手選考要項

公益財団法人日本水泳連盟
水球委員会

1 派遣対象競技会

本要項は2024年度水球男子U18世界選手権への日本代表選手団の編成を定める。

U18 世界選手権大会

【男子】7月2日-9日(アルゼンチン・ブエノスアイレス)(予定)

参加有資格者; 18歳以下(2006年1月1日以降生まれ)とする

2 代表選手の選考要項

1)原則的選考方法

1 本連盟選手選考委員会(以下、「選手選考委員会」という。)は、日本国籍を有し、公益財団法人日本水泳連盟競技者として登録済みの選手を対象として、本競技会の代表選手(補欠を含む、以下同じ。)を選考する。選考手続は次のとおりとする。

- ① 水球委員会において、代表選手案を選考する。
- ② 水球委員会における選考は、満場一致を原則とするが、委員の意見が分かれた場合は、多数決をもって決する。
- ③ 水球委員会は選手選考委員会に対して、代表選手案を推薦する。

2 代表選手の人数は、国内競技会との日程重複を鑑み、最大7名までの補欠を含め、13人から20人の範囲で、選手選考委員会が決定する。

3 水球委員会における代表選手選考は、所属チームが国内であるか国外であるかを問わず、選考の当年度または過去に開催された、以下の大会等における各選手のパフォーマンスを参考に選考する。

国際競技会

- ・ 2024年 世界選手権(アジア予選を含む)
- ・ 2023年 U20世界選手権
- ・ 2022年 U18世界選手権
- ・ 2024年 アジアエージグループ選手権
- ・ 2022年 U16世界選手権

国内競技会(本戦出場のための各予選会を含む)

- ・ 2023年 日本選手権(各予選会を含む)
- ・ 2023年 日本学生選手権
- ・ 2023年 関東学生リーグ
- ・ 2023年 高校総体
- ・ 2023年 国民体育大会
- ・ 2023年 ジュニアオリンピック大会
- ・ 2023年 全日本ジュニア(U17)選手権

- ・ 2023年 全日本ユース(U16)選手権
- ・ 国内強化合宿(U16及びU17の国内研修合宿を含む)

- 4 上記3 に該当しない場合であっても、選考当年度のシーズンにおいて、次にあげる対象国の最上位リーグに所属するクラブチームに在籍し、公式試合における出場実績を持つ選手は、上記3 の競技会に出場することなく、日本代表候補に選考することができる。この対象国は、過去2大会の世界選手権上位8位以内の国、または前回のオリンピック上位8位以内の国とする。
- 5 選考対象となる国際/国内大会等において不参加、または怪我などの事由により十分な能力が発揮出来なかった場合は、選手及び所属監督連名で、水球委員長に対して、書面をもって、当該選手に対して追加の評価の機会を与えることを申し入れることができる。水球委員会は、この申し入れがあった場合は、評価の機会を追加することができる。
- 6 日本代表として選考された選手が本競技会への参加が不可能となった場合、補欠選手を日本代表選手として繰り上げる。

2)代表選手の除外

- 1 代表選手として選出された者が、下記に該当する行為を行った場合は、代表監督は、当該選手を代表選手から除外することができる。
 - ・ 日本代表選手行動規範を遵守できなかった者
 - ・ 代表監督の戦術の指示に従わなかった者
 - ・ チームワークを乱す行動を取った者
 - ・ その他日本代表チームの目標に対して不利益と思われる行動及び言動を取った者
- 2 代表監督は、前項の除外を行った場合は、その後に開催される水球委員会に遅滞無く報告し、承認を得る。

3)代表選手の強化方針

- 1 代表監督は代表選手に対して、「日本代表が目指す強化方針」を説明し、この強化方針 に従って強化に努める。
- 2 代表選手の強化は、所属チーム及び国内強化合宿における強化を併用する。
- 3 国内強化合宿において強化を図る選手は、代表監督(男・女)が決定する。
- 4 代表監督は、必要に応じて前項以外の者を国内強化合宿に招集することができる。

3 選考要項の説明方法

- 1) 水球委員会は、2024年4月9日、本選考要項案を決定し、その後、2024年4月11日、本連盟常務理事会での承認を得た。
- 2) 水球委員会は、本連盟ホームページによる告知により、本選考要項を選手に周知させる。

以上